

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和3年1月26日(火)14時00分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
上野管理官補佐、加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他9名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき令和3年1月28日に開催予定の東海再処理施設安全監視チーム会合の資料案について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料1について)

- ・会合においては、一部の事故対処手順のみを抜粋した資料で説明するのではなく、次回申請するとしている内容の事故対処の全ての設備及び手順について、具体的な有効性評価の結果を示すこと。
- ・今後確認するとしている事項（事故対処に用いる設備の保管場所等の健全性、今後配備予定の設備を用いた事故対処の実効性の評価等）については、4月予定の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請において示すこと。

(資料2について)

- ・脱硝工程について、MPの工程洗浄における具体的な内容を今後検討する状況であり、運用に裏付けがない。脱硝操作と溶解操作を同時に作業すると冷却能力を超えることから同時作業は行わないとしているが、これを運用でどのように担保するのか説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：事故対処の有効性評価について

資料2：ウラン脱硝施設の冷水設備の一部更新について

資料3：東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）について